

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年7月22日(2010.7.22)

【公表番号】特表2010-503425(P2010-503425A)

【公表日】平成22年2月4日(2010.2.4)

【年通号数】公開・登録公報2010-005

【出願番号】特願2009-527341(P2009-527341)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/82 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 29/02

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月4日(2010.6.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 蛇行帯 (8 5) 及び第 2 蛇行帯 (8 9) ならびにこれらを接続するコネクタ列 (4 4) を備えるステントであって、

各蛇行帯 (8 5 , 8 9) は、交互に配置される複数の直線状蛇行帯ストラット (2 2) 及び複数の屈曲部 (2 8) を備え、

第 1 蛇行帯 (8 5) と第 2 蛇行帯 (8 9) は周方向において互いからずらして配置され、

第 1 蛇行帯 (8 5) 及び第 2 蛇行帯 (8 9) は、複数のコネクタストラット (2 0) によってコネクタ列を渡って接続され、各コネクタストラット (2 0) は、一端においては第 1 蛇行帯 (8 5) の屈曲部 (2 8) に接続され、他端においては第 2 蛇行帯 (8 9) の屈曲部 (2 8) に接続される、ステント。

【請求項 2】

各蛇行帯 (8 5 , 8 9) は、隣接する接続された屈曲部 (2 8) の間に延びる第 1 の個数の蛇行帯ストラット (2 2) と、隣接する接続された屈曲部 (2 8) の間に延びる、第 1 の個数とは異なる第 2 の個数の蛇行帯ストラット (2 2) とを備える、請求項 1 に記載のステント。

【請求項 3】

前記ステントが複数の第 1 蛇行帯 (8 5) を備え、第 1 蛇行帯 (1 6 a) の接続された屈曲部 (5 8 c) が、ステント長手方向において、隣接する第 1 蛇行帯 (1 6 c) の接続されていない屈曲部 (5 5 a) と整合する、請求項 1 に記載のステント。

【請求項 4】

複数の第 1 蛇行帯 (8 5) 及び複数の第 2 蛇行帯 (8 9) がステントの長さに沿って交互に配置される、請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載のステント。

【請求項 5】

前記蛇行帯 (8 5 , 8 9) の屈曲部 (2 8) が、交互に配置される基端側山部 (2 4) 及び先端側谷部 (2 6) を備え、第 1 蛇行帯 (8 5) の基端側山部 (2 4) 及び先端側谷部 (2 6) は、第 2 蛇行帯 (8 9) の基端側山部 (2 4) 及び先端側谷部 (2 6) のいずれともステントの長手方向において整合しない、請求項 1 に記載のステント。

【請求項 6】

前記ステントが、複数の第 1 蛇行帯 (8 5) 及び複数の第 2 蛇行帯 (8 9) と、複数のコネクタ列 (4 4) とを備え、複数のコネクタ列 (4 4) が第 1 コネクタ列 (4 4 a) 及び第 2 コネクタ列 (4 4 b) を含み、第 1 コネクタ列 (4 4 a) のコネクタストラット (2 0) 同士は互いに平行であり、第 2 コネクタ列 (4 4 b) のコネクタストラット (2 0) は第 1 コネクタ列 (4 4 a) のコネクタストラット (2 0) に非平行である、請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載のステント。

【請求項 7】

前記第 1 コネクタ列 (4 4 a) 及び第 2 コネクタ列 (4 4 b) がステントの長さに沿って交互に配置される、請求項 6 に記載のステント。

【請求項 8】

前記第 1 コネクタ列 (4 4 a) のコネクタストラット (2 0) とステント長手方向軸線との間の角度が、前記第 2 コネクタ列 (4 4 b) のコネクタストラット (2 0) とステント長手方向軸線との間の角度と等しい大きさである、請求項 6 又は 7 に記載のステント。

【請求項 9】

蛇行帯ストラット (2 2) の最大幅が屈曲部 (2 8) の最大幅より小さい、請求項 1 に記載のステント。